

令和4年

第1回仙北市議会臨時会
教育行政報告

仙北市教育委員会

令和4年1月21日

令和4年第1回仙北市議会臨時会の開会にあたり、主な事項について、ご報告させていただきます。

【学校教育課】

◇オンラインでの児童会交流、ICT端末機器を活用した授業について

12月14日、西明寺小と桜木内小の児童会がオンラインで互いの活動を紹介しました。西明寺小の健康委員会は、なわとびの技を披露し、桜木内小の児童からすごいという賞賛の声が聞かれました。桜木内小の図書委員会は、読書集会を紹介し、西明寺小からは、図書活動をしてみたいという声が聞かれました。互いに質問を行い、活発な意見交換が行われました。また、12月22日には、角館小と桜木内小の児童会がオンラインで交流し、互いに刺激を受けていました。

12月9日には、ICT端末機器を活用した授業を北浦教育文化研究所の伊藤所長が西明寺小で、武藤指導主事が西明寺中で授業提示を行いました。クロムブックのアプリを駆使して、提案型の授業となりました。参観者からは、授業におけるICT端末機器の活用の仕方が分かるなどとても好評でした。

◇マーチングバンド全国大会について

12月11日、さいたまスーパーアリーナにおいて第49回マーチングバンド全国大会が行われ、角館小学校金管バンド部ドリームハーモニーが東北代表として出場しました。昨年度は動画での出場、今年度はさいたまスーパーアリーナでの演奏となりました。ドリームハーモニーは「グッド パフォーマンス賞」を受賞しました。子供たちと指導された先生方、多くの関係の皆様への頑張りに心から拍手を送りたいと思います。

◇第20回「子どもサミット～Semboku City ジュニア未来会議～」について

1月11日、子どもサミットが11校の代表24名が参加して開催されました。「仙北っ子の約束」「SDGs」について、認知度を高める方策について協議し、全学校で取り組むことにしました。また、夏のサミットで計画した「子どもによる地域の活性化」として行ったクリーンアップ活動の振り返りを行い、観光地仙北市のためにがんばった様子が紹介されました。来年度はこの地域活性化をどのように進めていくか、一旦持ち帰り各中学校区でアイデアを出すことになりました。仙北市プライドの醸成の上でも、とても有意義な会議でした。

◇第35回毎日カップ「中学校体力づくり」コンテストについて

体力・健康作りを通して「生きる力」を育む中学校を応援する毎日カップ「中学校体力づくり」コンテストにおいて、松木内中が全国4,500校の応募の中から優良賞29校の一つに輝きました。これまでの先輩たちが取り組んできたことをベースに、新たなことにも挑戦したことが評価されました。

◇第65回秋田県中学校スキー大会の結果について

1月15・16日、花輪スキー場を会場に開催された第65回秋田県中学校スキー大会において、アルペン女子で角館中学校2年の佐々木碧波（ささき あおば）さんが大回転、回転ともに第2位となり全国大会出場権を獲得しました。

クロスカントリー男子フリーでは、神代中学校3年の佐藤駿太（さとう しゅんた）さんが第7位、1年の清水快真（しみず かいしん）さんが第9位、女子フリーで3年の佐々木葉奈（ささき かな）さんが第8位、女子クラシカルで第10位となり全国大会出場を決めています。

全国大会は2月1日～3日の日程で長野県野沢温泉村を会場に開催されます。

【生涯学習課】

◇成人式について

コロナ禍により延期を繰り返し、仙北市としては初めての冬期開催となった成人式ですが、約1年半の延期となった令和2年度分を1月8日（土）に、約半年の延期となった令和3年度分を1月9日（日）に、無事に開催することが出来ました。

1月8日に開催した令和2年度分は130人の成人者が、1月9日の令和3年度分は155人の成人者が参加しました。女性は振り袖での参加が多く、混雑を避ける為に式当日の早朝から、成人式看板を背景に着物姿で写真を撮っている姿が見られました。

マスクをして、社会的距離を保ちながらも、久しぶりに顔を合わせた友人やお世話になった恩師との心の距離は、中学校の頃以上に近くなっているようでした。

コロナ禍ということで、何れの成人式についても、国歌等の歌の斉唱を止め、来賓の祝辞は人数を最小限にしました。ステージ上に設ける来賓等の席も、社会的距離の確保の観点から最小限にしました。

コロナ対策としての行為が、場面によっては失礼な行為と捉えられてしまう心配がありましたが、出席された皆様から安心・安全対策として多大なご理解とご協力をいただき、地元で暮らして

いる成人者も・遠方から参加した成人者も安心して出席でき、それぞれの年度の代表者による「誓いのことば」では、困難な時代ということも相まってか力強い決意が述べられました。

【学習資料館・イベント交流館】

◇展覧会について

新潮社記念文学館では、4月24日から12月17日まで「館蔵品展 歳月（とき）を刻む～雑誌から読みとる「新潮社の魂」～」を開催しました。（9月1日から10月15日までの間は、情報センター空調設備オーバーホールのため臨時休館）。本展の入館者数は1,036人でした。

1月5日からは「仙北市の校歌・校章展」を開催しています。角館中学校校歌をめぐる詩人・三好達治のエピソードや現在の各小中学校とその前身の学校の校歌等をパネル展示していますので、ぜひご覧いただければ幸いです。会期は5月15日までです。

【平福記念美術館】

◇児童生徒県南美術展について

11月28日から1月25日まで開催される「第44回児童生徒県南美術展」には75校の小・中学校から953点の絵画や立体作品が出品され、11月19日の審査会で特賞24点、奨励賞200点、入選729点が決定しました。

仙北市の特賞受賞者は6名で、仙北市長賞に神代小学校2年の武藤小太郎（むとう こたろう）さん、角館中学校1年の菅原雅人（すがわら まさひと）さん、仙北市議会議長賞に神代中学校3年の小原里子（おはら さとこ）さん、仙北市教育委員会教育長賞に角館中学校3年の木村光樹（きむら こうき）さん、角館町平福記念美術館長賞に角館小学校2年の相馬希愛（そうま のあ）さん、AKT秋田テレビ社長賞に角館中学校1年の草薨巖汰（くさなぎ がんた）さんが選ばれました。

なお、特賞受賞者の表彰式は、新型コロナウイルス感染症対策として中止することとし、賞状及び記念品は学校経由で受賞者に渡していただくことにしました。

また、12月5日から1月23日まで開催される「お気に入りの角館展」では、角館中学校全校生徒が描いた町の風景のスケッチをカルチャールームに展示しています。

以上、教育行政に関する報告を申し上げ、教育行政報告といたします。